

先に、多かった課題と対策をまとめますと、

- ①エイド間の連携不足・・・・・・・・対策 ☆事前に班長会を開く
☆エイドリーダー（実行委員）が当日は各エイドを巡回する
- ②エイドメンバーのチームワークアップ・・・対策 ☆遅くとも11月くらいにはシフト決める
☆エイドスタッフで集まって話し合える場づくり
- ③当日の連絡網がない・・・・・・・・対策 ☆ボランティア・実行委員全員共有できる一斉メール的なもの準備
そのことを了解したうえでボランティアに応募してもらう。
- ④トイレ問題・・・・・・・・対策 ☆トイレポイントではなくても各エイドにはトイレ完備
営業時間外のお店には事前をお願いしておく。
- ⑤水不足・・・・・・・・対策 ☆水が汲める場所をエイドにする。
もしくは大き目タンクを用意する。

永久保郵便局前（7.5 Km）

- ◆真っ暗の中、雨が降ったりで足場が悪くて選手の方が荷物を置くスペースが足りなかったです。
雨具の脱ぎ着が必要で。
- ◆トイレが必要です。かなりの人がトイレに行かれました。
永久保郵便局の方が開放してくれました。
トイレトペーパーもかなり使ったし、撤収してから掃除できなかったのが気になりました。

サムズ駐車場（12 Km）

- ◆飲み物がたりない
- ◆ごみ袋2組ずつ欲しい（〇〇なゴミと記載してはどうか）
- ◆スタッフが足りない
- ◆スタート直後なので珈琲や100%ジュースが喜ばれた
- ◆マイコップ忘れた人が5～6名。念のため紙コップあるといいかも。
- ◆トイレ行きたい人が多く、サムズさんが営業時間外なのに空けてくれた。
撤去時お礼は伝えたが、本部からもあらためてお礼をしてほしいと思う。

ふるさと市場（22Km）

※このエイドチームでは、自主的に反省会が後日行われいろんな意見が出ました

- ◆風が強くてタープが何度もとんだ。
- ◆班長白坂さん率いるチームワークがよかった。
- ◆仮装したエイドで選手もたのしそうだった。
- ◆トイレに行きたい選手が多かったがふるさと市場がまだ空いていなく、厚意で貸してくださったが、何度も選手が通るし、厨房を通って行く場所なので申し訳なかった。
- ◆にゅうめんゆでるためにペット1の厨房で業務用ガスレンジを借りれてすごく助かった。
- ◆来年もおなじメンバーで取り組みたい。
- ◆来年は、宮浦小学校前の「和み館」にエイドつくるのがいいと思う。

布引の滝（一湊珈琲店内）（31Km）

◆一湊珈琲さんが厚意で店舗を提供してくださり、選手の方はかなり満喫エイドだったと思います。わりとゆっくりされてました。

ただ、しょうがないですが、トイレが遠いなあーって心の声が選手からもれていました。

- ◆店舗の外のデッキスペースで飲食提供でしたが、飲みこぼしや飲み残したものを外に捨てたりしていて、ランナーのマナーとしてどうなんだろうかと思いました。
 - ◆撤収してからの掃除がお店の方に甘えてしまいできなかったのが心残りでした。
 - ◆初めてのエイド担当スタッフの参考に、テーブルセッティングの写真を抑えておくと便利かも。
 - ◆このエイドでは、5人くらい手持ち無沙汰な様子でした。
- 忙しい人とそうじゃない人の差が激しいので、ボランティアに指示する各エイドのリーダーが必要なように感じました。
- ◆ボランティアは毎年参加する人も多そうなので、Tシャツじゃなく、毎年使い回せるビブスの購入費に回してもいいのでは、と感じました。

西部ミラー49（53Km）

- ◆コーヒー牛乳を飲む人が意外と多く、まだあってもよかったかも。
- ◆水が足りなかった。（支給は3.5ℓ）
- ◆ゴミ袋が足りなかった。
- ◆ひとくちサイズのお菓子がもう少しあるとよかった。

栗生公民館（69Km）

- ◆距離表示があるといい
 - ◆リタイア者の対応がわからない
 - ◆ぼんかんジュースがとんでもなく人気だった
 - ◆水がたりなくて何度も汲みに行った
 - ◆マッサージ班もエイドスタッフとしての最低限のことを知っておいた方がよい
 - ◆関門のエイド特有の事項を事前に把握しておきたかった
 - ◆荷物運搬というシステムがあることや、りっしょうがどこにいるかなど自分の役割以外のことも知れる方法があるといい。
- スタッフ配置の名簿は事前に全員に共有してほしい。
などなど。

※スタッフ妹尾さんが報告書を出してくれたので文末に載せました。

中間緑の回廊（7.3 Km）

- ◆指示通り、公民館に置いてあるぜんざいを持っていきましたが、本部？との連絡不備があったみたいで、ぜんざいの受け取り連絡なしに持っていかれたと担当の人は怒ってると言ってました。
 - ◆ぜんざいがたくさんあまり（しかたないのだけど）、無駄にするなど半強制的に持ち帰られました。片付け時は区長のお小言に閉口してしまいました。
- 中間区長やぜんざい作ってくださった方に、丁寧なフォローをしたほうがよいと思います。
- ◆エイドの場所が分かりにくいので気付かず通り過ぎてしまった選手もいた。
- 途中から、仮装をしたスタッフが県道にたって誘導した。

八幡消防（8.0 Km）

- ◆トイレの表示が分かりにくい。もうすこし目立つ方がいい。
- ◆念のためスプーンや割箸があるといい。

その他（エイドに関することに限らずいただいた意見）

- ◆エイドで飲み物や、飴等足りなくなったときの補充を前もってどうするか決めてもらえると助かる。各エイドの連携がとれればロスも減るのかなとか。
 - ◆撤収後ゴール地点に荷物が集められる場所も前もって決めておくのと片付けがスムーズに行くのではないかな
 - ◆ゴール地点がさみしい。ゴールテープはあった方がいいと思う。
 - ◆荷物運搬の荷物の置き方が乱雑。
 - ◆西部林道でサルに追いかけて怖かったという声をよく聞いたので、事前に選手にサル対策を伝えておくのもよいのでは？
 - ◆エイド・りっしょう共に、「選手がきたらこうしよう」「こういう声をかけると選手はうれしい」というような共通意識をもってとりくみたい
 - ◆出来れば、スタッフ（ボランティア）は救急救命法を受講していることが望ましいです。
- 屋久島は都市とは違い救急車を呼んでも時間がかかります。
- これを機に救急救命法を学び、知識がある人が増えることは屋久島町としても良いことと思います。
- 屋久島町など連携して、ボランティアになるひとが気軽に受講できる機会ができるとよいなあと思いました。

次ページから、

栗生エイド担当、妹尾尚美ちゃんの報告書です。

【マラニック気になったことなど】

(栗生エイド担当→尾之間エイド手伝いの体験から)

●エイドに最低限の資料を。

選手にいろいろ聞かれるけど、その答えがボランティア(以下ボラ)の誰もわからないことがあった。
ここが何キロ地点、次のエイドまで何キロ、○○が食べられるエイドはどこ(何キロ先)?
リタイヤしたいけどどうすればいいか?荷物は何処にあるか、など。

最初の選手には答えられず、後の選手には答えられたりと、
ボラの慣れに頼ると先頭選手によりサービスが提供できない。

事前資料に書いてあることもあるけど、当日それを持っていないボラもいるので、
それらが書かれた資料が1部でもエイドに用意してあり、
用意してあることを最初の **MTG** で共有できればいいと思った。

●選手が事前にどんな情報提供をされているかを知りたい。

もしくは、知っている人がエイドに一人(聞ける状態で)居て欲しい。

選手は、自分が提供された情報を当然ボラも知っているだろうという前提でいろいろ聞いてくるが、
ボラは上記のような状況。
やりとりの中でボラの情報の無さに小さな不安や諦めを感じた選手もいたと思う。

また、私の持っていた資料では栗生エイドは **69** キロ地点とあったのでそう答えていたが、
選手が「カレーエイドは **70** キロ地点じゃないの?」「**69** キロ?じゃあカレーはまだ先?」などと聞かれた。
持っている情報にズレがあった?

●あと何キロ?

各エイドに看板があれば選手はツライ中で息を切らせて「あと何キロ?」と聞かなくても済むのでは。
「栗生エイド/**70** キロ地点」のような簡単な一目瞭然のもの。

また、リッシュウこそが何キロ地点なのかわからないのに聞かれるので、
リッシュウポイントにも看板があればベスト。

無くても、ボラにはそこが何キロ地点か?次のエイドまで何キロか?
次のエイドにトイレはあるか?無いなら何キロ先か?
次のエイドで受けられるサービスは?(にゅうめんなの?カレーなの?)くらいの情報は共有しておきたい。

リッシュウグッズの1つにラミネートしたレジメ

(ハガキサイズくらいに上記と問い合わせできる電話番号と名前が書かれている等)を
ヒモで首かけるようにしておくとか。

●情報共有ツールを何か。

当日、随時全体に周知されるべき内容をライングループや messenger グループで共有してはどうか？

内容としては、トップがどこを通過、何番がどこでリタイヤ、荷物は〇〇へ到着しました、
怪我人が出たからレスキュー来て！→レスキューが到着・対処しました、
〇〇エイド撤収完了、大会は無事終了しました etc.

(あるイベントのボラでこんな感じで messenger のグループが大活躍だった。)

流量が多いと思うので全員が知る必要はないかもしれないが、

循環レスキューの人、各エイド代表者(もしくは情報共有担当)、本部の情報共有として。

また、ある程度しっかりと関わっているボラ、情報が無いことに不安を感じるボラには登録を打診して、
情報を与えることで不安を緩和してあげるのもアリだと思う

(そういう人には情報多すぎたら抜けてオッケーだからと気軽に誘えばいいと思う)。

また流量が多いと流れてしまい見落とすかも知れないが、登録者は多く、
投稿者は上記に限定するなど、やりようはあると思う。

イベント終了時に「お疲れさま」と、お互いを労いあうこともできるのでメリットは大きいと思う。

デメリットは電波問題と個人情報問題、流量が多いとウザい&見落とす問題、
ケータイばっか見ちゃう問題くらい？

●各エイドに FA を設置。

実際に怪我人が出たときのエイドでの対応がわからなかった。

何をすべきなのか、誰に(どこに)連絡するべきなのか、どんな対応アイテムが用意されているのか、
各エイド 一人はそれがわかっていて欲しいし、その一人はエイドのボラ全員に周知なり、
協力要請(私を呼んでね！的な)なりを最初の MTG での必要を感じた。

●関門のシビアさをどうしたものか問題

16時30分リミットで16時31分に到着した選手が「走りたい」と懇願してきた場合に
どうすべきか判断がつかない。

関門なのでとバッサリ切るのか。

ここまで来てたった1分のことだから悔いの無いようにと走らせるのか。切るにしても、どう論ずるのか。

判断と心構え、伝え方など、繊細なところだと思うので(運営上の問題もあるし、選手のメンタルの部分もあるだろうし、マラソン業界の通例みたいのもあるのだろうけどそれが全くわからない)、関門のボラには共通認識が欲しい。

●お礼や労いの不足

栗生エイドを閉めるとき、とても雰囲気良かった。
カレーを食べないか？と婦人会の方がボラに声をかけてくれた。労いあいがあって、良かったこと、反省点など言い合って「楽しかった」「ありがとう」「お疲れさま」と別れた。

フラリと手伝いに行った尾之間エイドで、流れで最後を任されたのだが、何がどうなったら終了かわからず戸惑った。
婦人会にお礼を言って、ボラ全員をお疲れさまと見送ったが、エイド閉じましたよーとどこかに報告するでもなく、そこにいた人(さっちゃんジェニーここにたんあたりの人達)に挨拶して帰る時に、「これで終わりでもいいのかしら？」と不安があったし、個人的な終わった感がなかった。

そして、婦人会の人へのお礼ってこれで終わりなのか？こんなに任せっきりで大活躍な人達にアフターフォロー的なものはあるのか無いのかもわからない中で流れで任せちゃった人の「ありがとうございました」で終了？ひどくないか？とってしまった。(結局、後から大会本部から改めてのお礼はあるのかもしれないけれど。)

ボラの後夜祭的なものが無い中で、最後に誰かから労いの言葉の1つくらいはかけて欲しいと思ってしまった。
ボランティアのモチベーションは役に立つことであったり、ありがとうと言われることに尽きると思う。誰かにそう言われたい、もしくは言われたらとても嬉しいと思う。

選手からやボラ同士での労いあいが自然発生してもいるが、ボランティアをお願いしますと誘ってくれた本部からの労いや感謝の言葉を、ボラは誰も待っていると思う。

尾之間エイドを閉めるときに何がどうなったら終了かわからなかった戸惑いは、ここが無事に閉まったことに対して本部からの「ありがとう」「助かった」「お疲れさま」がなかったからだと思っただ。業務的な終了はできたけど、メンタル面で終わりきらなかった感に改めて気がつきました。

って意味でも、エイドを閉めたら最後は本部(かどこか)へ連絡、と決まっていると嬉しい。業務的な意味よりメンタル面。「エイド閉じました」「了解。お疲れ様！ありがとう！」これだけで来年もやってもいいかなって思えると思う。

●ボラの為のお疲れ会

上記と重なるけど、労いの場があったらいいと思う。

個人的にはTシャツもらえるよりみんなでの食事が嬉しい。

あのとき助けてくれたあの人はいったい誰だったのか？という人が何人かいます。

そのうちお会いするかもだけど。

ヒアリング(文章)で思ったことをきちんと伝えられる人ってあまり居ないと思う。

そういった意味でも、大会がどうだったか、ボラ体験がどうだったかなど

ざっくばらんに話せる会があるといいと思った。

エリアも広く難しいとは思いますが。また、本部がやることではなく、

別の誰かがやってもいいと思います。

●ご家族をボラに誘う媒体封入

今回、どれくらいの島外ボラがいたかわからないけど、

選手の家族をボラに誘うようなチラシを選手宛の郵送物に同封してはどうか？(入っていた?)

家族で来てもらったら観光の幅が広がるのでは？人数や滞在日数が増えるのでは？

以上、思ったことなど。

指摘が多く、批判的に思えるかもですが、やってよかったし、またやろうと思います。

だからこそ色々心配でもあります。

特に、島の人の評判はどうなのかということ。

それはボラもそうだし、今回は関わっていない人も。

島で歓迎されてこそその屋久島一周だと思うので、持続可能であることを願います。

お疲れ様でした。

また宜しくお願いします。

妹尾尚美